

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)能瀬精工新本社新築工事	階数	地上4F地下1F
建設地	柏原市円明町217-2	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	50人
気候区分	5地域	年間使用時間	2,450時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2015年5月18日
敷地面積	3,638 m ²	作成者	株式会社 樹谷設計 植田英嗣
建築面積	627 m ²	確認日	2015年5月20日
延床面積	3,065 m ²	確認者	株式会社 樹谷設計 吉田健一

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3
Q2 サービス性能: 5
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 本計画は、本社機能を持つ事務所と工場の複合施設計画である。 建物の外皮には高性能の部材を採用することで熱負荷軽減を図っている。 また、設備機器も高効率機器を採用しており、建物の省エネルギー性能を向上させることへ配慮を行っている。		その他 0
Q1 室内環境 ・遮音性能T-2等級のサッシを採用し遮音に配慮。 ・ブラインドに庇を組み合わせてグレアを制御し光環境に配慮。 ・細かい点滅区分により照明の制御が可能。	Q2 サービス性能 ・リフレッシュスペースとして休憩室の計画があり、自販機を設置している。 ・配管材料は耐用年数の長い材料を使用し、耐用性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・植栽による良好な景観形成に配慮。
LR1 エネルギー ・高効率な照明器具や設備機器を採用している。	LR2 資源・マテリアル ・節水型機器を積極的に採用し、水資源保護に配慮。 ・躯体と仕上材を分別可能とし、部材の再利用について配慮。	LR3 敷地外環境 ・駐車場に十分なスペースを確保し、交通負荷抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0016

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)能瀬精工新本社新築工事					
		建設地	柏原市円明町217-2					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					2.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								